がれる処理コンク	— <i>)</i> / A	• 技術情報集	(保有技1	削丿		(1/1)	
整理 No.	60	66 分類 がれき焼却灰 (飛灰)、汚染物質の保管					
会 社 名	西松建設株式会社						
担当者	平野孝行(土木設計部)、椎名貴快(技術研究所)						
連絡先	TEL	03-3502-7640			FAX	03-3502-0228	
	E-mail	takayuki_hirano@nishimatsu.co.jp)	
技術の名称	天然鉱物	物由来微粉末を用いた飛灰からの放射性セシウム溶出抑制					
概 要 (150 字程度)	焼却施設から発生する放射性物質を含んだ飛灰に、ベントナイトを主成分とした「天然鉱物由来微粉末」を飛灰質量に対して 10%以上添加してセメント固化することで、飛灰からの放射性セシウムの溶出を大幅に抑制できる技術である。						
技術登録等							
技術の概要	■ 天然鉱物由来微粉末 ■ 放射性セシウムの溶出抑制効果 100 (%) 辨刊機のマイン・3 科 (82%) (%) 辨刊機のマイン・3 科 (82%) (%) 辨刊機のマイン・3 科 (82%) (%) 辨刊機のマイン・3 科 (82%) (%) 辨刊機のマイン・3 科 (82%) (%) 辨刊機のマイン・3 科 (82%) (%) 辨刊機のマイン・3 科 (82%) (%) 辨別未添加 (%) 辨別未添加 (%) 辨別未添加 (%) 辨別未添加 (水の量 (飛灰質量に対する%) 下微 (%) 辨別未添加 (水の量 (飛灰質量に対する%) 下然鉱物由来微粉末を飛灰質量に対して 10%以上添加してセメント 固化処理した場合、放射性セシウムの溶出率を 10%程度に抑える効果あり。 (参考:飛灰(原灰) 約 80%、飛灰セメント固化物 約 50%) ・天然ゼオライト微粉末(平均粒径 10μ)と比べて、半分の添加量で放射性セシウムの固定化性能は同等。 ・飛灰の使用量: 固化体中の約 40% (容積比で)						